

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成18年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ(WG)開催経緯等

18年 6月28日	実証機関選定の公表
7月19日	平成18年度第1回WG開催 (今後の進め方等の検討)
7月31日～8月31日	実証機関において実証対象技術の募集等
11月10日	実証対象技術の選定
19年 3月19日	平成18年度第2回WG開催 (実証試験結果報告書等の検討)

(2) 実証試験状況等

実証運営機関：財団法人日本環境衛生センター

実証機関の公募を行い、下記2機関を今年度の実証機関として選定した。

実証機関：大阪府

中核となる地方環境研究所名：大阪府環境情報センター

実証対象技術：垂直重力式油水分離器(VGS)及び

食品残さ簡易回収システム「ラクッチャ～」(2技術)

実証試験期間：平成18年11月20日～平成19年2月16日

実証機関：広島県

中核となる地方環境研究所名：広島県保健環境センター

実証対象技術：対象技術なし。

(WG検討員名簿は資料1-1-2参照)

2. 今後の予定

平成19年度においても引き続き同技術分野の実証を継続する予定。

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会
有機性排水処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

藤田 正憲 高知工業高等専門学校 校長

岡田 光正 広島大学 副学長

中井 尚 (社)日本フードサービス協会 事務局長、業務部長

名取 眞 (社)日本産業機械工業会 国際環境技術協力センター 顧問